

20210201PS



認知症をテーマにした 作品（小説・映画・ミュージカル）

今回は、これまでに発表された認知症を取り上げた題材
の中からいくつかピックアップしたものをご紹介します。



思い出のすべてを、あなたへ託す。同じものを何度も買ってくる、同僚の名前が出てこない、通い慣れた道で迷う。50歳の働き盛りのサラリーマン・佐伯（渡辺）が突如襲われた病・若年性アルツハイマー。現実を受け止める余裕もないままに、佐伯の記憶から日常がひとつひとつ消えてゆく。妻・枝実子（樋口）はそんな夫とともに闘い、来るべきときが来るまで妻であり続けようと心に決めた。（東映「ビデオの作品紹介から」引用）

第30回日本アカデミー賞で作品が優秀作品賞に選ばれ、渡辺謙が最優秀主演男優賞、樋口可南子が優秀助演賞に輝きました。

ポケット
セミナーVOL. 11

20210201

若年性認知症をテーマにした映画

同年代の自分としても他人ごとではない出来事であり等身大に置き換えて瞬きもせずに見ていた記憶があります。家族の混乱・否認・怒り・受容から適応にかかるステップを実感することができました。会社の人々から花束を贈られて去る後ろ姿がとても切なかった思いがしました。

若年性認知症をテーマにした映画

story

広告代理店に勤める佐伯は50歳を迎え、仕事は順調、家庭も円満、さらには一人娘が結婚まじかと喜びに満ちていた。ところがある日突然、不幸に襲われる。アルツハイマー病を患った彼の記憶は少しずつ失われていく。

知らないうちに自分の体内で起こっていた受け止めがたい現実直面した彼は、錯乱し自暴自棄になり、病院の屋上から飛び降りようとするが、医師の必死の説得により何とか思いとどまる。

そして、屋上から階下へ戻る階段の途中で座り込み、妻の枝実子と話し合い、2人は涙を流しながらも病気と向き合う覚悟を決める。



明日の記憶
MEMORIES OF TOMORROW

渡辺 謙 樋口可南子
思い出のすべてを、あなたへ託す。

全国劇場公開作品
SALE ONLY

2006年
5月13日公開

中尾ミエが主演・企画・プロデュース
出演者平均年齢76歳 『ザ・デイサービス・ショウ』



オリジナルミュージカル

ザ・デイサービス・ It's Only Rock'n Roll ショウ2019

story

とある高齢者施設。
みんな長く生きてきた大先輩たち、持っている特技は
ひとつやふたつではないはず。それを復活させよう
このメンバーでショウを創ろう。
しかし、施設長は反対する。
ノリ気な大多数の一方、ロックは嫌いだと突っぱねる
おじいさんや見当識障害で参加困難なおじいさん、
内に閉じこもってしまったおばあさん……
ひと癖もふた癖もあるデイサービスの面々をマリ子はまとめられるのか？
唱歌も童謡もいいけれど、私たちが本当に好きなのはポップス、
そしてロックンロール！！というおじいちゃんおばあちゃんたちの
痛快ミュージカル。みんなで老後を突っ走れ！！



2015年から2019年まで上演
され、この間に2回観ました。
実際、自分に置き換えても痛快
で意気投合、感動しました。
こちらサイドで童謡や唱歌を
無難？に選曲するのですが
利用者サイドになっているのか
疑問だらけ。

当グループホームでは、BGM
にジャズやピアノ演奏なども
取り入れています。これから
団塊の世代向けに、フォーク
やグループサウンズ、映画音楽
そして、自家演奏など多彩な
対応が求められますよね。



story

物忘れのある80歳代の主人公・茂造は、物忘れをし、人を時々間違え、うろうろと出歩く。同居の妻が亡くなっても放置してしまう。嫁は、対応に苦慮しながら介護する。ある時、茂造は風呂でおぼれかかり肺炎を患い疲弊する。夏を経た後、男性用便器を壊して長時間抱えていたり、夜中に便を畳に塗りたくったりと、周囲を驚かせる行動が

view

現れる。ほどなく外出して行方不明になった直後、茂造は急死し、

認知症の説は終わる情や人格は注目されず、困った行動をする認知症という病気と周囲で悩む家族だけに焦点が当てられていた。現代の適切な医学的認識では、認知症の少なくとも中等度までなら、認知機能の大半は保たれる。感情や気遣い、その場の理解力などはほぼ正常であり、本人の行動には必ず理解可能な理由がある。すべての行動を「脳の病気」に結びつけることは、

本作は認知症(認知症)をいち早く扱った文学作品です。1972年の年間売り上げ1位の194万部のベストセラーとなり、これがきっかけで痴呆・高齢者の介護問題にスポットが当てられることになり、その関心度の高さから「恍惚の人」は当時の流行語にもなりました。

1972年出版から48年を経ているが内容は少しも色褪せないどころか、そのテーマはかえって今日性が強くなっている。



認知症の仕事をするようになってから(15年程前)古本屋のBook Offを何軒かはしごしてやっとこの本を手に入れました。内容の描写がリアルで吸い込まれるように読んだ記憶がよみがえります。認知症当人の茂吉には徘徊、異食、幻覚、妄想易怒性、愚便が現れ、家族の混乱が描写されるも、心理描写の趣は少ないが、ある意味、長年置いてきぼりであった当時の認知症のことを考えると心理面までは難しかったのかな～と思いました。

ポケット
セミナーVOL. 11

20210201

新しい方ではないが当



『長いお別れ』の原作は、直木賞
受賞作家・中島京子の同名小説。
認知症になった厳格な父が、
日に日に記憶を失っていく父、
様子に戸惑いながらも向き合う
ことで、娘たちが自分を見つめ
直していくストーリーです。

2019/5/31公開



LONG GOODBYE

認知症を患う父親とその家族の姿を
描いた中島京子の小説

「長いお別れ」を
映画化



英語には認知症を「Long Goodbye」＝「長いお別れ」と表現することがあるそうです。この別れのための長い時間が、家族の絆を今一度深める意味があるのかな～とも思いました

動画でアメリカにいる娘家族と通信中、リアルに表情や言葉が伝わります。

story

映画『長いお別れ』 蒼井優×竹内結子×松原智恵子×山崎努出演、
認知症の父が気付かせてくれた“家族の愛”

ある日、かつて中学校の校長をしていた厳格な東昇平が認知症と診断される。近所に住む次女の芙美は、カフェを開く夢を抱いて奮闘しながらも、上手くいかない恋愛に思い悩む日々。一方、夫の転勤でアメリカ暮らしの長女・麻里は、いつまでたっても現地の生活に馴染めず、思春期の息子のことも気がかり。そんな中、母・曜子から告げられた父の認知症の事実で動揺を隠せない娘たちが、

ゆっくり記憶を失っていく父との、お別れまでの7年間。涙あふれる、新たな愛の物語。



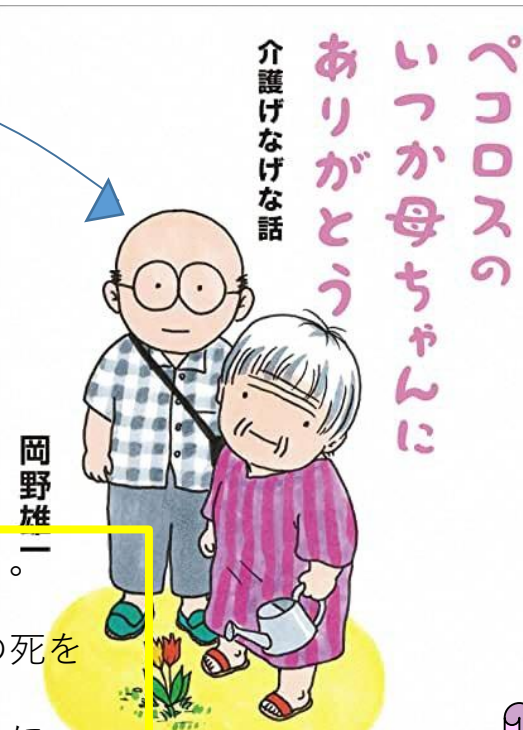
原作は、長崎在住の漫画家・岡野雄一のエッセイ漫画『ペコロスの母に会いに行く』。
深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症。でも、主人公のゆういちがこう言います。
“ボケることも、悪か事ばかりじゃなかかもしれん”。
そんな自身の体験をもとに描かれた認知症の母との何気ない日常が、多くの共感と感動を呼び、現在16万部を超えるベストセラーに。
そして、ここにまったく新しい介護喜劇映画が誕生しました！

story

「なんばしよと？お湯のたぎっとるよ」
「いま、電話のきたけん、しゃべりよったと」

長崎で生まれ育った団塊世代のサフリーマン、ゆういち（岩松了）。ちいさな玉ねぎ「ペコロス」のようなハゲ頭を光らせながら、漫画を描いたり、音楽活動をしなから、彼は父さとり（加瀬亮）の死を契機に認知症を発症した母みつえ（赤木春恵）の面倒を見ていた。迷子になったり、汚れたままの下着をタンスにしまったりするようになった彼女を、ゆういちが断腸の思いで介護施設に預けることに。苦労した少女時代や夫との生活といった過去へと意識がさかのぼっている母の様子を見て、彼の胸にある思いが去来する。

『ペコロス』とは「小さな玉ねぎ」という意味で、作中では頭のはげかかった中年男性である主人公（作者）の愛称として用いられている（Wikipedia）』



ポケット
セミナーVOL. 11

20210201

だいじょうぶ。

なにかと不安もおありでしょうが、

笑いとお愛をおとどけます。

2013年

11月16日[土]より全国ロードショー

11月9日[土]より長崎先行公開

あの『ペコロスの母に会いに行く』が、ついに映画化！

認知症という、お先真っ暗、この後どうすれば・・・
誰もが心配するところですが、この映画は面白おかしい場面をとおして、「そのままを受け止め」て、「その上でどうしたものか・・・」を教えてくれるような展開がある意味、痛快です。本当は深刻かもしれないが等身大でポジティブなところに「笑い涙」が出ました。



しあわせちゃん

いかがでしたか？

「恍惚の人」が世に出たときはセンセーショナルだった記憶が蘇ります。ページをめくるたびに、「えっ？え～っ？どうして！？」最近ではテレビでも何本か放映され、内容も悲観心理を補うように、コミカルにとらえたり、見て

いて面白さに吸い込まれてしまうことがあります。認知症を普段の暮らしの延長ととらえ、考え込まずありのままを受け入れ、一緒に笑う。ご本人も自分の

ザ、デイサービスショーのミュージカルのように、「は～い、ではみんな一緒に歌いましょう。」
♪ちーちーぱっぱ ちいぱっぱ…♪ではなくある人はジャズを聞いたり、グループサウンズや
フォークソングを歌いたい…。(同感！！)。また力のあり余っている人は仕事もしたいし畑もやりたい…。
でも、忘れることも多いのでそこはカバーしてね！

「認知症」に焦点を当てるのではなく、目の前の今のその「人」に気軽にアプローチ

して一緒に楽しむ～～、このことがとても大事なんですね。

ポケット
セミナーVOL. 11

次回は「認知症の初期症状」について発信予定です

お楽しみに